

## 第 8 班

1. タイトル：若手現役世代を核にしたコミュニティ参加支援策  
～多節型コレクティブ・タウンをつくろう！～
2. 報告書の概要：「誰もが孤立する時代」、我々現役世代も例外ではない。現在、各自治体で孤立する高齢者の地域の居場所づくりに取り組んでいるが、社会的孤立の中長期的な未然防止策として、将来の「単身高齢者予備軍」である若年層をターゲットに、若手現役世代の価値観・ニーズ・ライフスタイルに適合した「新しい都市型コミュニティ」を形成すべく次の提言を行った。①至るところに人が出会い、交流する「結節点」がたくさんあるまち、②出入り自由・選択可能な「ゆるやかなコミュニティ」のあるまち、③自立した個人がプライバシーに配慮しながら必要に応じて助け合える関係が築けるまち、④様々な年齢・属性の人同士が交流する「多様性」を生み出すまち
3. 引用している事例：①新潟市（「うちの実家」「地域の茶の間」）  
②札幌市（NPO法人ボラナビ倶楽部）  
③札幌市（NPO法人コミュネット楽創）  
④豊島区（NPO法人コレクティブハウジング社）
4. アンケート調査の有無 : 無